

経理スキルで地方創生！女性のリモートワーク推進と企業のDXを同時実現 Cuelが繋ぐ、新しい働き方と成長の未来



採択事業者名 株式会社Cuel
コンソーシアム構成員 一般社団法人愛媛デジ女プロジェクト、税理士法人丸木会計事務所

県内拠点設置 ない
所在・役割 所在/役割

事業概要

1. 事業の狙い

経理スキルを持つ女性のリモートワーク推進によるキャリアアップ支援
 ↳ 地方在住の女性に、場所にとらわれない働き方を提供
 ↳ 経理の専門スキルを活かした、より高い収入とキャリア形成を支援
県内企業への会計ソフトfreee導入による業務効率化、経営力強化
 ↳ 中小企業のバックオフィス業務のデジタル化を推進
 ↳ 経営の見える化、データに基づいた意思決定を支援
 ↳ 上記を通じた、地方創生への貢献（女性活躍、企業成長）

2. 県内のターゲット事業者

(ToC) 愛媛県内在住の、経理スキルアップ、キャリアアップを目指す女性。特に、子育てや介護などで時間や場所に制約のある女性/経理経験者、未経験者だが経理職に興味がある方
 (ToB) 愛媛県内の中小企業。特に、バックオフィス業務の効率化、デジタル化に関心のある企業、経営状況の見える化、データに基づいた経営判断をしたい企業

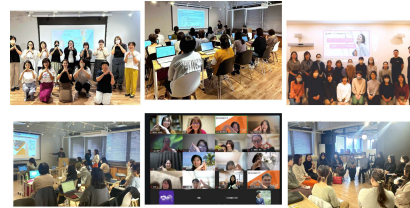
3. 紐づく課題

(ToC)
 地方では、経理の専門スキルを活かせる仕事が少ない
 リモートワークで働ける求人が少ない
 スキルアップ、キャリアアップの機会が限られている
 (ToB)
 バックオフィス業務が属人化、効率化されていない
 紙やExcelでの管理が多く、データの活用が進んでいない
 経営状況がリアルタイムで把握できない
 IT導入に抵抗がある、または導入後の運用に不安がある

4. 実施内容

(ToC向け) 経理スキルアップ講座/研修の実施（オンライン）
 内容：経理基礎講座、freeeの基本操作、仕訳入力、決算処理、リモートワークでの働き方、AI活用、リモートワークでのコミュニケーション、AIを活用した経理業務の効率化
 回数：週次開催
 期間(2期生)：2024/9/1～2025/2/2下記イベントのみ2/22
 その他勉強会(内部)：AIの基本と題したセミナー
 その他勉強会(外部)：メリビズ・キャスター(予定)の登壇

(ToB向け) freee導入支援コンサルティング(2社)
 対象企業：株式会社ゆふる、酒六酒造株式会社
 内容：導入前の課題ヒアリング、業務フロー分析、freee導入設定、運用サポート(初期設定、データ移行、操作指導)
 導入後の効果測定(工数削減、経営指標の変化など)



解決策(サービス/プロダクト)	デジタル活用の要素
(ToC) オンライン講座による、場所にとらわれない学習機会の提供 freeeを活用した実践的な経理スキル習得 リモートワークで活躍するための知識、ノウハウ提供 キャリア相談、仕事紹介による就業支援 (ToB) 会計ソフトfreee導入による、バックオフィス業務の効率化、自動化 クラウド化による、データの見える化、リアルタイムでの経営状況把握 導入支援コンサルティングによる、スムーズな移行と定着支援	取得データ ToC: 講座参加者数、出席率、アンケート結果(満足度、理解度など)、キャリアアップ状況(就業、転職、収入など) ToB: freee導入前後の業務時間、コスト、経営指標の変化など データ活用による考察・示唆 リモートワークでの経理業務に対する理解度が高い オンライン講座、リモートワーカーの登壇により、具体的な働き方をイメージできている。(→実際に応募に繋がっている) freee導入により、企業の業務効率化、経営の見える化に貢献できる。特に、中小企業において、バックオフィス業務のデジタル化は大きな課題であり、freeeはその解決策の一つとなる。 ToC、ToB双方へのアプローチにより、地域経済の活性化に貢献できる可能性がある。女性の活躍推進、企業の成長支援を同時に行うことで、相乗効果を生み出す。

成果と今後

成果(含む想定)

	実装前	実装後(～今年度末)	今後3年の見込み(～2028年3月末時点)
経済効果	(ToC) 地方在住の経理スキルを持つ女性のキャリアアップ機会は限定的、または無し。収入増の機会も限られている。 (ToB) 県内企業のデジタル化(特に会計業務)は進んでいない。業務効率が悪く、コストがかかっている。	➢ (ToC) 453万円/年 ➢ (ToB) 200万円/年 ➢ 合計: 653万円/年 (ToC)就業率向上・収入増加: 受講者22名の20%が就業し、1人あたり年間36万円の収入増と仮定。(32名 × 30% × 36万円/年 = 453万円/年) (ToB)コスト削減: freee導入2社で、1社あたり年間100万円のコスト削減効果があると仮定。(2社 × 100万円/年 = 200万円/年)	➢ (ToC) 2138万円(累積) ➢ (ToB) 2600万円(累積) ➢ 合計: 4738万円(累積) 継続・拡大方針: ToCは講座の継続開催、ToBはfreee導入企業の拡大。算出ロジック: (ToC) 来年度以降毎年10名が受講、30%が就業、就業者1人あたり36万円の収入増と仮定。2025年度:453万円、2026年度:561万円、2027年度:669万円、累積2138万円。(ToB) 今後3年間で毎年3社ずつfreee導入が進み、1社あたり100万円のコスト削減と仮定。2025年度:500万円、2026年度:800万円、2027年度:1100万円、累積2600万円。
KPI進捗	【KPI ①】 年収アップ者数 6名(見込み含)	・正規職員のキャリアアップ 月1万円昇給+賞与1か月分増 ・県内企業での業務委託就業で年収24万円アップ(さらに増加見込み)など 10名(見込み含)	-
	【KPI ②】 マッチング数 5組(見込み含)	・受講中に転職成功 ・受講直後に就職成功など 7組	-
	【KPI ③】 freeeによる工数削減率 30%	書面による証書送付・管理がOに オペレーション改善により生業時間増大 経費管理や資金繰り管理に注力など 40%	-
デジタル人材輩出	(ToC) リモートで働けるスキルがない、もしくはないと感じている。かつ簿記は持っていない、デジタルツール(特にクラウド会計ソフト)を活用できる人材は少ない。 (ToB) クラウド会計導入企業、およびそれをサポートしてくれる機関が少ない。	【アクティブ】 経理としてキャリアアップ 10名(見込み含) 【ポテンシャル】 現在応募中 6名 【関心層】 説明会参加者数 120	【アクティブ】 経理としてキャリアアップ 18名 【ポテンシャル】 マッチング活動中 18名 【関心層】 説明会参加者数 240
定性的/非連続な価値 (具体的な行動変容/組織変容など)		具体例 (ToC) 経理以外にも視野に。受講生が転職決意、Excel学習など自発的なスキルアップも。 (ToB) 外注(会計事務所)任せだった記帳を自計化。担当者は経営分析に注力、資金繰り管理も改善。	

新規実装・協業に至った事例 ※県内

ゆいふる	家事代行業 (freee導入)
酒六酒造	酒造 (freee導入)

その他の“for 愛媛”要素

- ・愛媛県内企業へのfreee導入支援
- ・愛媛県在住女性のキャリアアップ支援
- ・地方創生への貢献(女性活躍、企業成長)
- ・Cuel受講生以外への仕事紹介(6月まで)
- ・各種勉強会への特別参加